

# 主要個別項目について

平成28年5月18日



復興庁

Reconstruction Agency

新たなステージ 復興・創生へ

# 目次

## ◎主要個別項目について

1. 福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想……………P1
2. 官民合同チームの概要と被災12市町村の事業者の自立支援策…P2
3. JR常磐線(避難指示区域内)の開通等の見通し……………P3

# 1. 福島イノベーション・コースト構想の具体化 平成28年度予算額 143.4億円（新規）

○ イノベーション・コースト構想の実現に向けて、拠点の整備を推進するとともに、地域産業の復興に資する実用化開発等を支援し、プロジェクトの事業化と具体化を図る。

## 既に事業化が進んでいるものの例

### モックアップ試験施設（楡葉町）

- 原子炉格納容器下部の漏えい箇所を調査・補修するロボット等の機器・装置の開発・実証試験等の実施を想定。
- 平成27年10月19日に開所式を開催（研究管理棟は完成）。平成28年4月に、試験棟を含めた本格運用開始。

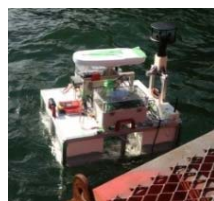


### 福島浜通りロボット実証区域

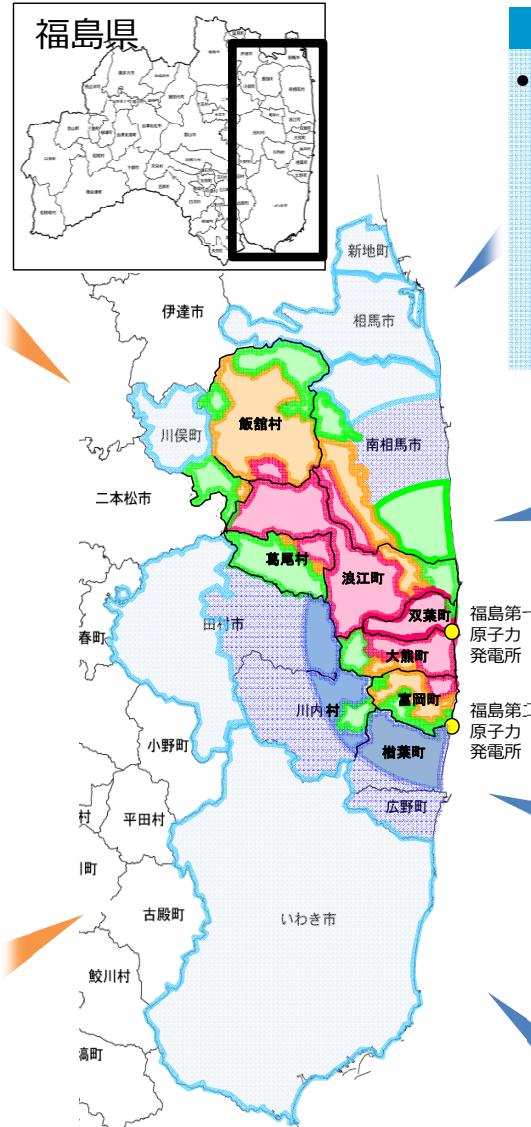
- 橋梁、トンネル及びダム・河川その他山野等を利用したロボット実証区域。
- 平成28年3月9日時点で、14の開発事業者が31の実証試験を希望。8件の実証試験が行われ、その他については、市町村とマッチング中。



（無人航空機）



（水中ロボット）



## 平成28年度の経産省の主な取組の方向性

### ロボットテストフィールド 28年度：51.0億円

- 福島浜通り地域において、福島県の重点産業であるロボット分野の地元中小企業や県外先進企業による産業集積を構築し、被災地の自立と地方創生のモデルを形成するため、ロボットテストフィールド及び研究開発施設等を整備する。



イメージ図

### 共同利用施設（ロボット技術開発等関連）

28年度：21.7億円

- 福島県浜通り地域においてロボット分野等の先進的な共同利用施設の整備、設備等の導入等を行う。



イメージ図

### 地域復興実用化開発等促進事業

28年度：69.7億円

- ロボット技術等イノベーション・コースト構想の重点分野について、地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等の費用を補助する。

### 実現可能性調査（FS調査）

28年度：1.0億円

- 今後プロジェクトの具体化を進めて行くに当たり必要な調査等を実施する。

## 2. 被災12市町村の事業者の自立支援策

平成27年度補正:228億円(基金) 平成28年度:13.2億円

▶ 平成27年8月24日、国・県・民間からなる「福島相双復興官民合同チーム」を創設し、その翌日(25日)から事業者訪問を開始。年末までの約2900の事業者訪問の結果を踏まえ、以下の被災12市町村の事業者向け支援策を策定。

### I 事業者の方々に寄り添った訪問・相談支援の強化

27年度補正 82億円(基金)

官民合同チームにおける、専門家による訪問、相談支援体制を強化。コンサルタント、中小企業診断士等の専門家を交えたチームを構築し、事業再開、承継・転業、生活再建等の課題について、事業者に寄り添った訪問・相談支援を実施。

### II 事業・生業の再開等を行う方々への思い切った支援

#### 1. 人材確保支援

28年度:5億円

##### ①人材マッチングによる人材確保支援

- ・12市町村内外からの人材確保を図るため、人材コーディネーターによる人材マッチングを行う。
- ・引越等の移転を伴う就職者に対して、支度金を給付。

##### ②被災地における雇用支援(緊急雇用創出事業臨時特例基金にて対応)

- ・産業施策と一体となった雇用面での支援を行い、産業の早期自立と安定的な雇用の確保を図るため、被災求職者を雇用した事業者に対して一定額を補助。

##### ③自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金の創設(28年度:320億円(基金))

- ・福島県の避難指示区域等を対象に、工場等の新增設を行う企業を支援。従来の製造業に加え、卸、小売業等も対象とするとともに、社宅等も対象。

#### 2. 設備投資等支援

27年度補正 74  
億円(基金)

##### ○中小・小規模事業者の事業再開等支援

12市町村で被災した中小・小規模事業者の自立を集中的に支援し、まち機能の早期回復を図るため、事業者の事業再開等に要する設備投資等の費用の一部を補助。

#### 3. 販路開拓等支援

28年度:3.7億円

##### ○6次産業化等に向けた事業者間マッチング・経営者の右腕派遣

販路開拓や新ビジネス創出に向けた事業者間マッチングを行うとともに、経営者に伴走する専門家を派遣。

#### 4. その他

##### ①商工会議所・商工会の広域的な連携強化

28年度:1億円

各商工会議所・商工会が広域的に連携し、官民合同チームと協力しつつ、市町村の枠を超えた事業者間の連携を促進。また、事業者を対象としたセミナー開催などを実施。

##### ②地域の伝統・魅力等の発信

28年度:0.5億円

地域の誇り・魅力となるような伝統工芸品や特産品(地元の農・商工産品)などを国内外に発信するため、展示会への出展等を行う事業者等を支援。

### III 事業を譲渡される方々、事業再開に至らなかった方々の新たな生きがい・やりがい創出

#### ○つながり創出を通じた地域活性化支援事業

28年度:1.6億円

地域の人と人のつながり回復を通じ、地域の活性化、さらには産業振興やまちづくりにも資するような取組(例えば、地元地域の農・商工産品等を活用した取組、地域の防犯パトロール、技術の伝承など)を行うグループ等の活動を支援。

### IV 事業者の帰還や事業再開を後押しする需要の喚起

#### ①事業再開・帰還促進事業

27年度補正 72  
億円(基金)

市町村が各々の実情を踏まえ実施する、地元事業者からの購入を促す取組など需要喚起や住民の帰還を後押しする取組に関して、福島県に造成された基金から市町村へ交付金を交付。

#### ②生活関連サービスに要する移動・輸送手段の確保支援

28年度:1.4億円

地元商店による共同配達や医療サービス等の移動・輸送手段等の支援。



# 3. JR常磐線(避難指示区域内)の開通の見通し

